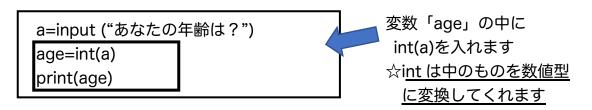
Python について知ろう②(if 文について) [2 学期授業用プリント No.2] 3 年 ()組 ()番 名前 ()

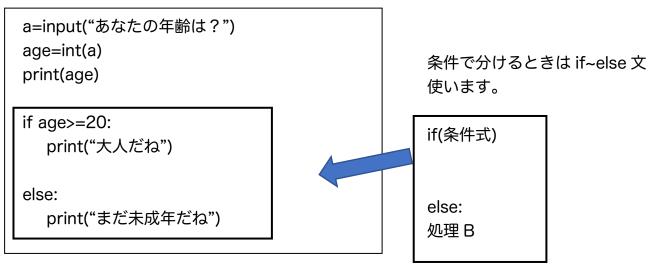
●if でよく出てくる比較演算子

python		DNCL
==	等しい	==
!=	等しくない	!=
>	大なり	>
>=	以上	>=
<	小なり	<
<=	以下	<=

練習 1 今のままでも表示されますが、a に入った数字がコンピューターは 文字か数字か判断できません。そこで a に入ったものが数字だと 判断させるようにします。int を使います



練習 2 条件によって表示が変わるようにしよう。今回は年齢が20歳以上なら「大人だね」、そうでなければ「まだ未成年だね」というプログラムを作ります。

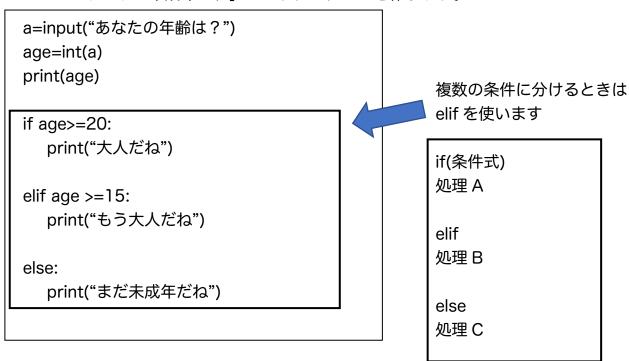


☆if、else の後に print 文を入れる場合は字下げ(tab キー)が必要です。 字下げで if 文の中にあるという意味になります。

字下げなし if age>20 字下げあり if age>=20 print("大人だね")

練習3 年齢によって処理を3つに分けてみよう。

20歳以上は「大人だね」15歳以上は「もうすぐ大人だね」、それ以外は「まだまだ未成年だね」というプログラムを作ります。



基礎課題1

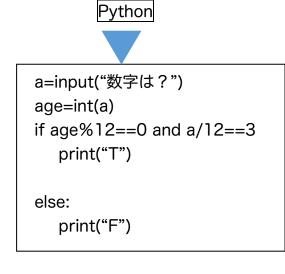
点数が70点以上かどうか確認するプログラムを作ろう。 70点以上なら「合格」、60点以上なら「ぎりぎり合格」、 それ以外なら「不合格」となるようにしてください。

ヒント①input の文字を変えてみよう

ヒント②age>=20 の数値を変えてみよう

ヒント③print の中身を変えてみよう。

重要 Python と DNCL の比較





- (1) a = 【外部からの入力】
- (2) もし a % 12 == 0 and a ÷ 12 == 3 ならば:
- (3) | 表示する ("T")
- (4) そうでなければ:
- (5) L表示する("F")